

2003.12.18 比較現代日本論研究演習／現代日本論演習 II

第 11 回「変数をキーにした分析：結果の表記」(田中重人)

【結果の書きかた】

クロス表（または散布図）が基本：
各セルには度数と 全体での% を書く。

統計量などは表の下に:

対応のある t 検定 → 相関係数、平均値の差、
有意水準（対応のある検定であることを明記）

2 項検定 → $x > y$ ケースと $x < y$ ケースの比率、
有意水準（基準比率と検定法を明記）。

$x = y$ ケースを除いた場合はその旨明記。

50%基準なら単に「符号検定」と書いてもよい。

圧縮した書きかた:

対応のある t 検定 → 各変数の平均・SD の表
表の下に、人数、相関係数、平均値の差、
有意水準(対応のある検定であることを明記)

2 項検定 → $x > y$, $x = y$, $x < y$ 各ケースの比率の表
表の下に、有意水準 (基準比率と検定法を明記)

多数の変数を総当りで比較する場合：

Hasse diagram (ハッセ図)

- ★ $x > y$ か $x < y$ か「どちらともいえない」か
- ★ 上下関係に従って並べ、順位付け可能な組を線で結ぶ
- ★ 上から下に向かって線をたどれば、
2変数間に順序付け可能である

何を基準としたのかを明記すること